



(公社)熊本県建築士会 女性部会 ～かわら版～

第 16 号 平成 31 年 2 月 発行



◆住まいづくりの無料相談会◆

毎月第 4 土曜日の 13 時～16 時、鶴屋デパート本館 5 階インテリアカウンターにて無料相談会を開催しております。みなさんも相談員として登録してみませんか！

<対応してくださった相談員の皆さん>

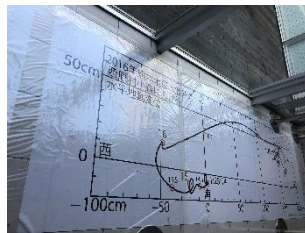
10 月 園田和美さん 橋詰美香さん 11 月 濱崎優子さん 村上亜紀さん

12 月 持田美沙子さん 盛高麻衣子さん ありがとうございます。



◆「熊本地震 益城町断層見学ツアー」報告◆

去る平成 30 年 11 月 4 日、熊本県建築士会女性部会初代会長松野陽子さんにご案内して頂き、益城町断層見学ツアーが開催されました。ランチ会には 17 名、見学会には 27 名の方にご参加頂きました。益城町交流情報センターでの「水平地動変異」や谷川地区の「宅地内を V の字に横切る地表地震断層による地割れ」、堂園池付近の「地表地震断層による畑の境界のずれ」など、様々な事例を見学できました。



【告知】「お雛祭りランチ&セミナー」のお知らせ

おいしいお弁当を食べながら、ざっくばらんに話しませんか？

セミナーでは、来年度 20 周年を迎える鶴屋での相談会でよくある内容について把握し、今後の相談会に役立たせるための勉強会と、資金計画の相談に参考にしてもらえるよう、住宅金融公庫の方にリバースモーゲージ融資などの説明をしていただくほか、緊急時にも対応できるよう応急危険度判定の DVD を観賞します。皆さまのご参加をお待ちしております。

- ・日時:平成31年3月3日(日)12:00～16:00
- ・会場:建築士会 地下会議室
- ※ 公共交通機関の利用にご協力をお願いします
- ・会費:お弁当代として 1600 円程度(実費)
- ・申込先:(公社)熊本県建築士会 女性部会企画委員
- ・申込締切:2月25日(月)まで

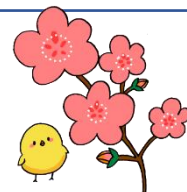
※ 平成31年度 女性部会総会は5月12日(日)の予定です。

わたしたちは「いつでも、誰でも、気軽に」をモットーに、全員が参加できる部会活動を目指しています。

女性部会の最新情報は facebook で随時更新中！

【熊本建築士会女性部会】で検索♪

〒862-0954
 熊本市中央区神水 1 丁目 3-7
 Tel 096-383-3200/Fax 096-383-1543
 Mail LEB03540@nifty.com

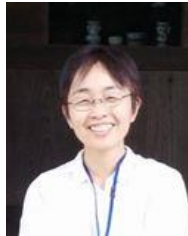


女性部会 FB の QR コードはこちら



熊本震災

発災直後から1年
～益城町ましき野での活動～



人吉支部
持田 美沙子

被災後の6月初旬、Facebookで、突然、東北の女性建築士の方からお友達申請が来た。ボランティアで被災者の相談に乗っているの、情報交換しませんかといった内容だった。当時五木村に住んでいた私は、週末、熊本に戻ってきたときに益城町の「ましき野」でお会いすることにした。

ましき野は、比較的新しい住宅団地である。300戸ほどの住宅が立ち並び、一見、被災しているように感じなかった。しかし、団地内の道路には亀裂が走り、30cm以上動いている建物もある・・・川側の住宅は、擁壁と地盤の間に隙間ができ、ブルーシートで覆われていた。外観からの罹災の判定は一部損壊。しかし、地盤がこんな状態では、住み続けることができるのか？皆さん不安でいっぱいだった。

ましき野団地内十数世帯の方々とのお付き合いが始まった。何度も通い、九州ブロックの建築士の方々にも手伝って頂き、そして、地盤の専門家も巻き込み、当初、一部損壊だった住宅が全壊判定へ変わった。東北の建築士からスタートし、様々な方々のお手伝いあって、この結果を導くことができた。ましき野の方々とは、今でも時々女子会に呼ばれ、交流し続けている。

益城町では、宮園地区、辻の城地区でも相談会を開催。この相談会をきっかけとして、地域の方々がまとまり、活動が始まったようだ。

地域に根差した建築士として、私たちも一歩踏み出したのだと思う。 続く・・・

熊本震災

発災直後
～前震から本震の状況～



八代支部
盛高 麻衣子

前震は4/14木曜の夜9時半頃だった。その日、まだ職場（4階）で仕事をしていて、今までにない揺れを感じた。職場は、旧耐震で耐震性能が無いことを知っていたので、とりあえず、建物の外へ避難した。しばらく外で待機したあと、職場にもどり、情報収集。その後、深夜までの数時間に何度か大きな余震があり、また、しばらく屋外で待機。その後、職場は使用不可となり、電話もない、ネットも見れない、情報収集できない場所で、何もできないもどかしさを感じながら朝を迎える。一睡もできないまま、金曜も仕事をし、夜10時頃、やっと自宅に戻れ、12時過ぎに就寝。

就寝して間もなく、午前1時半頃、本震がおこる。睡眠不足で最初は、夢の中での出来事なのか現実なのか、よくわからなかった・・・意識が戻り、まず、隣で寝ている子供の安全を確保し、余震が治まるのを待つ。その後、震度を確認。震度6弱。かなり眠かったはずだが、一気に目が覚める。子供のことを夫に頼み、出かける準備をする。すぐに電話があり、第二次避難所を開設するので・・・と避難所運営の依頼有り。職場は使用不可の状況であったため、とりあえず今できること、避難所へむかった。

避難所は学校の体育館。4月中旬だったが、床はかなり冷たい。毛布を配ったが、1人1枚ではかなり寒そうだった。地震直後ということもあり、なかなか寝付けない様子だった。 続く・・・

**※女性部会では熊本地震の体験やその後の活動を書いて下さる方を募集しています。
熊本県建築士会事務局までご連絡ください。**

TEL:096-383-3200/FAX:096-383-1543/MAIL:LEB03540@nifty.com